

○社会実験の様子

JR佐賀駅南口広場

- ▲乳しぼり体験【JAさが】
- ▲お菓子掘み取り【九州電力】
- ▲キッチンカーによる移動販売
- ▲歩道の様子(駅南口県道)

駅前まちかど広場

- ▲オープンカフェ
- ▲アンケート調査・寄せ植え体験【市】

県道佐賀停車場線

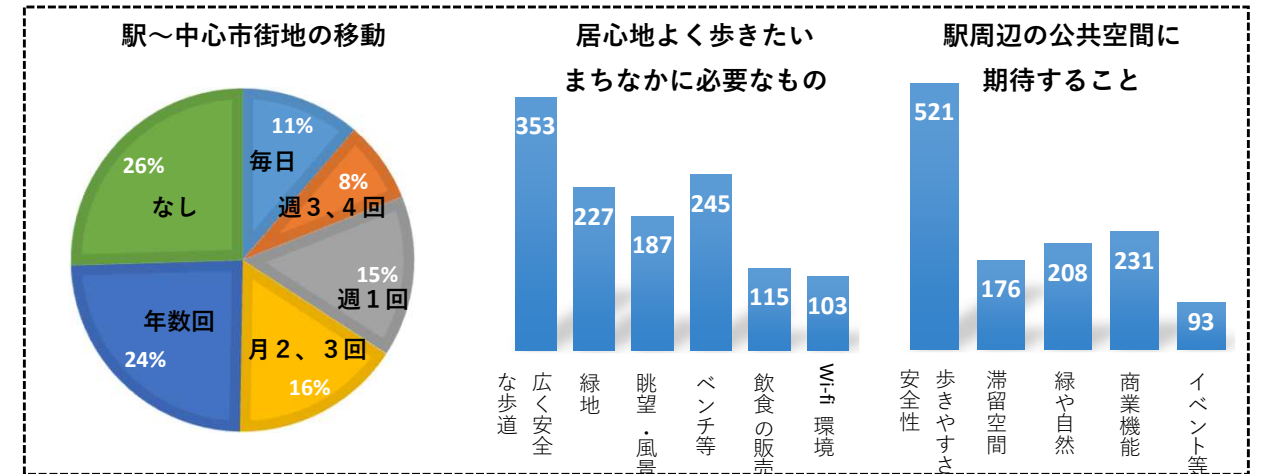
- ▲交通規制(規制看板)

コムボックス

- ▲子供駅長服による記念撮影【JR九州】
- ▲農産物の物販【JAさが】
- ▲「にじゅうまる」のPR【JAさが】

○アンケートの結果（一部抜粋）

回答者数：591人



○座談会（パネルディスカッション）の概要 3/14（日）開催

【パネリスト】：富吉賢太郎氏、古川久美子氏、有岡大介氏

◎パネルディスカッション意見（一部抜粋）

- 歩くこと、歩かせること
 - ・ワクワクするような目的地があると人は歩く。（特に女性）
- 滞留すること
 - ・駅周辺は通勤族も多く、気軽に会話できる場所を求めている人も多い。
- 経済活動へどう活かすか。
 - ・駅周辺は、人通りが多く経済活動を行うには絶好の場所である。
 - ・イベントのテーマをうまくコーディネートできればよいと思う。
 - ・“行ったら常に何かあっている”というようなイメージを与えられると他県からも人は来るのではないだろうか。

◎参加者意見

- ・50年に一度の大事業であり、これから大きくなる子供たちの財産となるようなものを築いてほしい。



社会実験を通しての気付き

- ・県道東側1車線を減少して実施したが、特に大きな交通混乱（渋滞等）は見られなかった。（沿線事業者からの大きな苦情等もなかった。）
 - ・オフィスにお勤めの方が昼食時にキッチンカーやオープンカフェを利用されており、平日でも滞留空間や食の提供に対する一定の需要があることが分かった。
 - ・大々的なイベントを行ったわけではないが、休日は駅周辺に多くの人出があり、改めて駅周辺エリアのポテンシャルの高さが実感できた。
- ➡駅前広場や歩道空間の整備を進めることで、来訪者が居心地よく安心して滞留し、この駅周辺エリアを拠点としてまちなか等周辺へ回遊していくことを図りたい。